

介護・健康教室で
オンライン講座を開始!

認知症
コース

認知症を正しく理解するために

認知症フレンドリー講座

認知症を「自分事」として
考えるきっかけにする

無 料

インターネットの
接続費用は
自己負担と
なります。



朝日新聞社フレンドリープロジェクト



認知症フレンドリー講座

講座のポイント

認知症を正しく理解するために

超高齢化が進む中、認知症になっても本人の尊厳が守られ、住み慣れた街で今まで通り安心して暮らしていける社会づくり。認知症を「自分事」として考えるきっかけとするために、認知症の人のインタビューを通してその考えを知り、認知症の人の気持ちを理解し、認知症の人とともに暮らす「共生社会」とは何かを考える

講座プログラムの特徴

- 認知症治療の専門医が監修
- 認知症の人が体験や思いを語るインタビューを収録
- 専門医（朝田隆医師）が認知症をわかりやすく解説

【講師】坂田 一裕 氏

1993年朝日新聞社入社。週刊朝日編集部、朝日新聞静岡総局で記者・編集者を経て、新規事業を担当するメディアラボ、総合プロデュース本部で健康医療領域の事業創出を担当。近年は「認知症」をテーマについて取り組み、創刊140周年記念事業の「認知症フレンドリープロジェクト」提案メンバー。

【解説】朝田 隆 氏（東京医科歯科大学客員教授）

認知症治療の第一人者が、認知症とはどんな病気なのかをテーマごとに詳しく解説します。

ジェイティ健康保険組合

	項目	内容
カリキュラム	導入 認知症のイメージとは ミニムービー（前半） 数字で把握してみよう 認知症の定義 認知症の病理について 認知症に備える 本人と向き合う withコロナ時代の認知症と介護 ミニムービー（後半）	<ul style="list-style-type: none"> 認知症を数字で把握してみる 日本における認知症の高齢者人口の将来推計 認知症の定義とは 63歳で若年性アルツハイマーに（インタビュー） 変化に気づいた人との関係 朝田医師解説「認知症とはどんな病気」 老化による「もの忘れ」と認知症の違い 認知症の原因となる病気の割合 朝田医師解説「アルツハイマー病の特有の症状は」 認知症の人の世界を疑似体験・VR動画の紹介 脳内で起こっていること 原因物質の変化と蓄積について 年代別リスク分析 ・生活習慣の改善がリスク低減に 「39歳でアルツハイマー型認知症と診断」（インタビュー） 朝田医師解説「withコロナ時代の認知症と介護」
	■ 認知症を正しく理解するために	

応募要項	[申込対象]	被保険者及びその家族 オンライン講座は、1名のお申し込みで同居されているご家族の皆様ご覧いただけます。
	[申込方法]	下記の参加申込書に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送、メールで下記あて先までお申し込みください。ご受講者には、教材一式（視聴用ID・パスワード情報、動画視聴の手順等を含む）をお送りいたします。
	[申込・問合せ]	ジェイティ健康保険組合 保健事業担当 住所：〒105-6927 東京都港区虎ノ門四丁目1番1号 神谷町トラストタワー26階 TEL：03-6636-2001 FAX：03-3438-0412 E-mail: info@jtkenpo.jp

データが大容量となりますので、従量制のデータ通信プランでご覧いただきますと、高額な通信料がかかることがあります。視聴の際は、容量無制限の高速インターネット環境をご利用ください。

<切り取り線>

オンライン版 介護・健康教室 申込書：「認知症フレンドリー講座」

被保険者氏名			性別	男・女	年齢	歳
保険証記号	被保険者番号	会社・事業所名				
(フリガナ) 参加者氏名			性別	男・女	年齢	歳
			被保険者との続柄			
参加者住所 教材送付先	〒 -		電話 ()			

【個人情報の取り扱い】 参加申込書に記載された個人情報は、本教室運営における以下の目的のために使用します。

1. 参加確認および参加決定通知をするため。
2. 参加者名簿および教室で使用するため。
3. 講師の指導ポイントを明確にし、効果を高めるため。
4. その他、「教室」運営を円滑にするため。

また、この情報は教室の運営団体である（公財）総合健康推進財団に提供します。